

6m AM

ロールコールグループ

【2004ハムフェア】



AMトランシーバー「フェムト」

[目次]

- (1) 1 エリア6mAMロールコールの紹介
- (2) 1 エリアロールコールチェックインリスト2004年版
- (3) 1 エリアロールコールメーリングリストの紹介
- (4) 2 エリア6mAMロールコールの紹介
- (5) AMマラソンコンテストの紹介
- (6) 9 エリア6mAMロールコールの紹介
- (7) 6mAMトランシーバー「フェムト」の紹介
- (8) SSM2166を使ったコンプリミッターの試作
- (9) 10mW AM+ヘンテナでどこまで飛ぶか？
- (10) 50MHz E H アンテナの実験
- (11) 1200MHz用「スパイラルアンテナ」の製作
- (12) 4エリアのアクティブAM局の紹介
- (13) 6エリアのアクティブAM局の紹介
- (14) 7エリアのアクティブAM局の紹介
- (15) 8エリアのアクティブAM局の紹介
- (16) 0エリアのアクティブAM局の紹介
- (17) 日本最西端からのQRV
- (18) 全国6mAMロールコールのお知らせ
- (19) キー局(ネット局の募集)
- (20) 原稿の募集
- (21) 寄付のお願い

1 エリア 6 m A M ロールコール

1 エリア 6 m A M ロールコールは、下記の日時・周波数で毎週行われています。どなたでもお気軽にチェックインいただけます。日曜日の夜のひととき、是非一度ワッチしてみてください。

日 時 毎週日曜日 21時30分から22時30分頃まで

(終了時間は多少前後します)

周波数 50.550 MHz 付近 モ - ド A3かA3H

キ - 局 (昨年8月以降、一度でもキー局を行った局)

J A 1 E E Z 田中 東京都豊島区 25 m高 11エレ スパイラルレイ

J I 1 H C D 梅村 東京都三鷹市 33 m高 7エレ3パラ

J K 1 O N N 高田 東京都武蔵野市 10 m高 2エレ H B 9 C V

J P 1 E V D 吉原 横浜市港北区移動 4 m高 2エレ H B 9 C V

J H 7 O Z Q 荒井 鎌ヶ谷市 / 富津市移動 6エレ2段スタック / 6エレ八木等

7 K 3 O M S 青木 神奈川県伊勢原市 20 m高 8エレ八木

8 J 1 A K M OP:JF3CGN 滝沢 東京都昭島市 (昭島市市制施行50周年特別局)

毎週キー局が変わり、チェックインいただく方にはご迷惑をおかけしますが、これも永くロールコールを行うためにキー局の負担を減らす工夫ですので、ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、キー局の担当予定は、ロールコールのインフォメーション、1エリア6mAMロールコールメーリングリスト等で発表されますが、都合により予告無く変更することがあります。

1 エリア 6 m A M ロールコールでは、キー局を募集しています。臨時や1回限りでも構いませんし、ローテーションに加わっていただければなお有り難く存じます。身近なキー局までお知らせください。

1 エリア A M ロールコールメーリング リスト(1AMRC) について

1 エリア A M ロールコールでは、メーリングリストを開設しています。ロールコールのキー局の連絡、チェックイン局リスト、インフォメーション等に利用しております。どなたでもお気軽にご参加いただけます。次のいずれかの方法でご参加できます。

- 1 . J K 1 O N N(jk1onn@jarl.com) に参加希望のメールを送る。
- 2 . 1amrc-subscribe@yahoogroups.jp に空のメールを送る。
- 3 . ホームページ <http://groups.yahoo.co.jp/group/1amrc/> を参照する。

なお、無手順の通信ソフトをお使いの場合は、2 及び 3 の方法がうまく行かない場合があります。その場合には、J K 1 O N N までメールでご連絡ください。また、参加者以外の投稿も受け付けるようになっていますので、複数のメールアドレスから投稿される方も、1 つのメールアドレスでの参加で OK です。

1 エリア 6 m A M ロールコール 2003 年 8 月 3 日 ~ 2004 年 7 月 25 日(51 回分)の
チェックイン局数及びキー局

日 付	キー局	参加局数	日 付	キー局	参加局数
2003/8/3	JK10NN	27	2004/2/1	JK10NN	28
2003/8/10	J11HCD	31	2004/2/15	JP1EVD	15
2003/8/17	JP1EVD	19	2004/2/22	7K30MS	21
2003/8/24	JH70ZQ	38	2004/2/29	JH70ZQ	26
2003/8/31	7K30MS	32	2004/3/7	JP1EVD	13
2003/9/7	JK10NN	24	2004/3/14	JK10NN	20
2003/9/14	JP1EVD	17	2004/3/21	7K30MS	25
2003/9/21	J11HCD	40	2004/3/28	J11HCD	35
2003/9/28	7K30MS	38	2004/4/4	JP1EVD	11
2003/10/5	JP1EVD	18	2004/4/11	JK10NN	27
2003/10/12	7K30MS	31	2004/4/18	7K30MS	30
2003/10/19	J11HCD	42	2004/4/25	8J1AKM	28
2003/10/26	JK10NN	28	2004/5/2	J11HCD	28
2003/11/2	JP1EVD	11	2004/5/9	JK10NN	18
2003/11/9	JK10NN	25	2004/5/16	JA1EEZ	42
2003/11/16	7K30MS	27	2004/5/23	7K30MS	23
2003/11/23	JH70ZQ	49	2004/5/30	JP1EVD	19
2003/11/30	J11HCD	37	2004/6/6	JH70ZQ	42
2003/12/7	JP1EVD	13	2004/6/13	JP1EVD	21
2003/12/14	7K30MS	36	2004/6/20	7K30MS	20
2003/12/21	JK10NN	23	2004/6/27	JK10NN	27
2003/12/28	7K30MS	22	2004/7/4	JP1EVD	18
2004/1/4	JP1EVD	16	2004/7/11	7K30MS	30
2004/1/11	7K30MS	20	2004/7/18	J11HCD	33
2004/1/18	JK10NN	28	2004/7/25	JK10NN	16
2004/1/25	J11HCD	38			

1 エリア 6 m A M ロールコール 2003 年 8 月 3 日 ~ 2004 年 7 月 25 日 (51 回分) の
 チェックイン局リスト

	コールサイン	回数	QTH	コールサイン	回数	QTH	コールサイン	回数	QTH	コールサイン	回数	QTH
1	JA1KK	50	杉並区	JH1BSJ	1		JL1XVZ	1		JR2FVO	10	調布市
2	JA1BAC	6	江戸川区	JH1CWF	5	川越市	JM1GHT	1		7K2LBK	1	
3	JA1BSR	1		JH1DXJ	26	立川市	JM1GNK	1		7L2IWN	1	
4	JA1BSY	1		JH1HEJ	1		JM1MAX	3		7L2LTO	1	
5	JA1CGC	1		JH1HYH	22	八潮市	JM1MOM	1		7M2ASO	1	
6	JA1DGV	1		JH1JRE	1		JM1RAG	8	横浜市南区	7M2WNR	18	府中市
7	JA1DIG	1		JH1LMX	1		JM1RMI	1		7N2TNI	8	小金井市
8	JA1DKP	1		JH1LRL	2		JM1SZY	10	横浜市青葉区	7N2TRM	5	品川区
9	JA1EAR	1		JH1MBQ	6	厚木市	JM1WDJ	1		JE3NJZ	1	
10	JA1EEZ	45	豊島区	JH1MIG	1		JM1WDT	1		JF3CGN	8	昭島市
11	JA1ERD	1		JH1PCJ	5	横浜市緑区	JN1UKN	2		JH3AKB	1	
12	JA1FEI	40	川崎市宮前区	JH1PUL	3		JO1ALS	2		JH3BZS	1	
13	JA1FWJ	35	西東京市	JH1RZY	1		JO1DGE	15	小田原市	JI3KHN	14	伊勢原市他
14	JA1HWI	1		JH1USR	1		JO1LVZ	4		JI3NPS	42	川崎市多摩区
15	JA1IOR	5	江戸川区	JH1YST	1		JP1EAC	1		JM3EPQ	1	
16	JA1KDP	2		JI1DMC	5	夷隅郡	JP1EVD	12	横浜市港北区	JM3UAO	1	
17	JA1NHV	1		JI1HBA	1		JP1GUW	14	川口市	JS3IAQ	2	
18	JA1NZN	22	渋谷区	JI1HCD	28	三鷹市	JP1ILT	19	横浜市港北区	7K3EUT	3	
19	JA1OXH	1		JI1IRC	1		JP1SAY	1		7K3OMS	14	伊勢原市
20	JA1RTS	11	練馬区	JI1RVX	8	戸田市	JQ1BVI	2		7K3PCI	2	
21	JA1SEL	1		JI1WCP	44	江戸川区	JQ1LXI	9	川崎市宮前区	7L3SQK	4	
22	JA1VZV	27	相模原市	JJ1DMS	1		JQ1NMF	1		7M3LKF	25	横浜市鶴見区
23	JA1WOB	1		JJ1EEC	2		JQ1SOA	5	太田市	7M3TVA	1	
24	JA1ZEE	3		JJ1ERR	22	横浜市旭区	JQ1TCV	9	東山梨郡	7N3GJR	1	
25	JD1BKW	2		JJ1FDS	1		JR1EMM	7	目黒区	JH4EIJ	2	
26	JE1BPO	2		JJ1GUW	3		JR1NHV	1		JJ4OWU	5	秦野市
27	JE1ELX	2		JJ1IDW	3		JR1OBC	28	目黒区	7L4PLA	13	厚木市
28	JE1MPR	9	川崎市多摩区	JJ1QKM	7	三浦市	JR1RNA	1		7L4UGW	2	
29	JE1NZN	23	小田原市	JJ1SWI	1		JR1UJX	33	練馬区	7M4BBQ	1	
30	JE1OOU	5	川崎市中原区	JJ1UDO	1		JS1HOR	16	東久留米市	7N4APM	1	
31	JE1QKC	14	川崎市高津区	JJ1WPK	30	所沢市	JS1IVS	6	平塚市	7N4GRT	1	
32	JF1AIF	5	西多摩郡日の出町	JK1BMK	10	茅ヶ崎市	7J1YAK	1		7N4TJS	1	
33	JF1DMQ	2		JK1FLJ	1		7L1TTH	11	船橋市	7N4XKB	2	
34	JF1JDG	22	横浜市港北区	JK1MIG	8	清瀬市	7M1CUN	8	稲城市	JA6DZH	2	
35	JF1LET	4		JK1MVF	1		7M1KHG	11	八王子市	JA6ELQ	1	
36	JF1NPO	1		JK1NZM	1		7M1MAX	1		JA6HQQ	1	
37	JF1XBQ	1		JK1ONN	21	武蔵野市	7M1XPR	33	横浜市鶴見区	JR6OUM	1	
38	JG1AFE	2		JK1PIU	3		7N1NAI	2		JH7DEZ	2	
39	JG1EMQ	1		JK1RGA	39	横浜市緑区	7N1XMD	18	小平市	JH7OZQ	26	鎌ヶ谷市
40	JG1GCO	2		JK1VVV	9	東久留米市	8J1AKM	1		JL7XBN	21	八王子市
41	JG1KVY	4		JK1XBR	1		JF2EHU	13	駿東郡	JM7GNL	1	
42	JG1OHM	5	台東区	JL1HNR	1		JF2HEV	1		JR7KKV	1	
43	JG1OPH	2		JL1KPM	5	羽村市	JF2QKA	1		JG8NQJ	3	
44	JG1RUM	14	川崎市麻生区	JL1RUC	7	稲城市	JH2COZ	8	伊東市	JR8DAG	1	
45	JG1XBH	6	武蔵野市	JL1THB	5	杉並区	JH2FQS	1		JH9UJB	6	武蔵野市
46	JG1XNW	11	板橋区	JL1UYE	4		JJ2GAZ	1		JH0CJH	6	伊勢原市
47	JH1APY	1		JL1WKR	1		JL2LRA	2				

参加局の非常に多い都県
 ・東京都
 ・神奈川県
 ・埼玉県
 ・千葉県

参加局のあった都道県
 ・茨城県 静岡県 長野県
 ・栃木県 愛知県
 ・群馬県 福島県
 ・山梨県 北海道

QTHの記入がある局は5回以上チェックインのあった局です。

2 エリア 6 m A M ロールコール

2 エリア 6 m A M ロールコールは本年で早や 4 年目になりました。大きな飛躍はありませんが、ほぼ安定した参加局数があります。このロールコールの存在を知り、新たに参加していただける局も時折あります。

A M のモードで運用する機会がほとんど無い現在ではロールコールは貴重な存在になってしまった感があります。ロールコールこそは A M のモードを試す良い機会です。自作 A M 機でチェックインされる局も多数おられます。

これからもロールコールが A M モードの興味への刺激になれば良いことと思います。

ロールコールへの参加および当ロールコールグループで企画するイベントはどなたでも参加できます。これまで 全国 A M ロールコール 年末 A M ロールコール ハムフェア 井戸吉一斉移動 等に積極的に参加し、A M コンテスト グランド・ミーティング 他 の行事も開催し、結構大勢の方たちに参加いただきました。

" このロールコールは A M の電波の出せる方ならどなたでも参加できます。A M のアクティビティ向上、連帯・親睦を高めるため行っています " 聞こえましたら是非チェックインをお願いします。 J A 2 A Z Z 杉山

日時 毎週土曜日 21:00 ~ 22:30 頃まで

周波数 50.600 MHz 付近にて

キー局 第1・3週(尾張方面で担当) J A 2 A Z Z , J R 2 J K L ,
J F 2 Q K A , J L 2 V X R

第2・4週(三河方面で担当) J F 2 U J G , J F 2 H E V

第5週 尾張・三河で交代または合同運用

チェックインの受付 開始から 22:00 頃まで

インフォメーション 22:00 頃からアナウンス

追加のチェックイン受付 インフォメーションの終了後 22:30 頃まで

2004年の参加局数

局数の前はキー局 (複数は合同運用)です。

A - JA2AZZ, J - JR2JKL, U - JF2UJG,
H - JF2HEV, V - JL2VXR, Q - JF2QKA,
F - JG2VSF, N - JQ2S JN, T - JQ2SAT
K - JQ2KJX

平均 35.1局

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
1月	QVK35	U 38	AQK34	U 34	AUV 33
2月	AQVK31	U 36	QA 33	U 35	
3月	HA 24	U 34	QA 37	U 34	
4月	AVKQ31	U 32	UQK42	QAK41	
5月	AQK28	U 46	QK 31	AJV27	U 38
6月	AQK37	U 46	QKF33	U 40	
7月	QKJ38	U 38	QK 33	U 39	AJUQTK 31

2エリア 6m AM ロールコール参加局リスト(2004年 1月 ~ 7月末)

CALL	QTH	NAME	CALL	QTH	NAME	CALL	QTH	NAME
JA2VT	岐阜市	中島	JF2HEV	安城市	榊原	JQ2DXB	北区	堀田
JA2AEP	半田市	加藤	JF2MU	中川区	尾崎	JQ2EYU	緑区	阪野
JA2APH	犬山市	鈴村	JF2KWM	多治見市	奥村	JQ2JYW	西区	上田
JA2AZZ	西春日井郡	杉山	JF2NMY	岡崎市	高木	JQ2KJX/ 2	小牧市	岩下 YL
JA2BQD	碧南市	小笠原	JF2PEO	一宮市	森川	JQ2LYD	南区	加藤
JA2BZY	西春日井郡	森	JF2QKA	春日井市	大橋	JQ2SAT	日進市	矢嶋
JA2CFQ	碧南市	角谷	JF2TYI	常滑市	飯島 YL	JQ2S JN	南設楽郡	真木
JA2EPR	土岐市	柴田	JF2UJG/ 2	豊田市	太田	JS2PHO	宝飯郡	川名
JA2EPW	久居市	小林	JF2VNV	可児市	佐藤	JF1KGQ/ 2	豊田市	秋本
JA2FAS	尾張旭市	若杉	JG2BRI	半田市	千田	J1HCD	三鷹市	梅村
JA2GPO/ 2	西加茂郡	安田	JG2LGA	中村区	基常	JA3DIJ/ 3	船井郡	戸田
JA2IAM	大府市	野竹	JG2LUR	丹羽郡	古池	JA3EWT/ 3	大 此花区	中林
JA2JIV	中川区	外山	JG2NUZ	日進市	加藤	JA3HAW/ 3	船井郡	長岡
JA2KUR	西尾市	加賀	JG2VSF	名東区	大鐘	JA3HOI/ 3	大 此花区	嘉瀬
JA2LLS	碧南市	山田	JG2XCO/ 2	土岐市	松原	JA3IXO	吉野郡	中村
JA2MWB	愛知郡	時田	J12CPF	知多郡	原田	JA3KGC/ 3	船井郡	
JA2NEN	上野市	池沢	J12GVL	可児市	鳥居	JH3BDB/ 3	豊能郡	入江
JA2NUO	豊田市	酒井	J12WLX	日進市	中野	JH3GNM/ 3	船井郡	笠木
JA2QIV/ 2	西加茂郡	相良	JJ2VVH	西加茂郡	萩野	JR3GOX/ 3	大 此花区	児玉
JA2RE	瀬戸市	木戸	JJ2WLX	鈴鹿市	山鹿	JR3JWR/ 3	大 此花区	片山
JA2TSW/ 2	西加茂郡	仲垣	JK2HGB	蒲郡市	三浦	JE3WMW/ 3	船井郡	鈴木
JA2UBY/ 2	西加茂郡	精廬	JK2JMC	守山区	井下	JF3KUU/ 3	豊能郡	長岡 YL
JA2VWA/ 2	西加茂郡	波多野	JK2NWU	刈谷市	近藤	JF3LCH	山辺郡	永井
JA2YCK	東区	さかい etc	JK2UYX	豊明市	前島	JF3UCF/ 3	八尾市	柳
JH2CMH	日進市	木戸	JL2OSW	西春日井郡	島田	JF3XWM/ 3	豊能郡	巽
JH2EEF	東加茂郡	加藤	JL2VXR	中島郡	道上	JBBXL	相楽郡	尾崎
JH2ZF	知多郡	石井	JL2XYM	春日井市	水谷	JBGKH/ 3	豊能郡	神山
JH2KBS	知立市	田中	JL2XZL	丹羽郡	大西	JN3BCI/ 3	吹田市	山下
JH2QBV	岡崎市	後藤	JM2MHQ	瀬戸市	土屋	JA4KEH/ 3	近江八幡市	中村
JR2JKL/ 2	西春日井郡	熊澤	JM2WSN	浜松市	白木	JR4VFC/ 4	深安郡	遠藤
JR2PNJ	四日市市	伊藤	JN2CDU	港区	安田	JA7JST/ 2	豊田市	田中
JR2RZR	西尾市	石川	JN2EVP	四日市市	千種	JA9PZ/ 2	羽島郡	萩原
JR2TN	岐阜市	後藤	JN2QYN	豊田市	塚田	JA9JXC	坂井郡	大橋
JR2ULS	松阪市	中津	JP2BQB	豊田市	高木	JA90JU	河北郡	円山
JE2CBQ	幡豆郡	木村	JP2KLP	北区	岡島	JA9SLD	氷見市	中川
JE2FJI	蒲郡市	平岩	JP2KUB	知多市	角田	JA9SWR	氷見市	中
JE2HOL	額田郡	小林	JP2NKK	北区	岡島	JA9VAR/ 9	氷見市	釜田
JE2IO	可児市	上田	JP2OMU	刈谷市	酒井	JA9VQU	高岡市	今川
JE2TAD	守山区	桐山	JP2QCX	南区	原田			
JF2FMY	名東区	近藤	JQ2ACM	瀬戸市	中切			

のべ118局 (参加局リストのQTHは、参加局が主に参加した場所です)

2エリアのロールコールは、クラブ制・会員制ではありません。どなたでも参加できます。ロールコールを通じて、いろいろな実験等ができればと思っています。

また、年に何回かミーティング、忘年会、新年会等を行っています。また、他のグループとの交流も積極的に行っています。どしどし参加していただければと思います。

また、キー局も同時に募集しています。ロールコールそのものをやってみたいと思う方は、申し出てください。

ロールコールの結果・情報は、下記HPに掲載しています。参考にしてください。

<http://www.6mam.com>

2エリアAMロールコールグループ主催で下記のコンテストを行っておりますAMの電波を出せるかたならどなたでも参加できます奮ってご参加ください。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.6mam.com>

名称 (新) 6mAMマラソンコンテスト

目的 6mAMのアクティビティー向上

主催 6mAM愛好会

日時 1年を1月～6月と7月～12月に分け年2回開催

参加資格 国内の個人アマチュア局

周波数 50.400MHz～50.900MHz

モード AM(搬送波のあるA3EとH3E)

部門 なし(但し表彰はエリア別とします)

呼び出し 特に定めません

コンテストナンバー RSレポート交換の通常のQSO

得点 異なる局との完全な交信をもって1点とする

マルチ 交信日数

総得点 得点×マルチ

表彰 エリア別に上位3位まで表彰する(但し10局未満のエリアは1位のみ)

9 エリア 6 m A M ロールコール



9 エリアでは、2001年1月より、毎月1回だけですが、6 m A M によるロールコールを実施しております。

このロールコールは、団体やクラブなどではなく、6 m や無線全般に関する情報交換、各局同士の親睦を目的として実施しています。6 m A M が運用できる局であれば、どなたでも参加して頂けます。

現在、A M 変調での交信は、あまり聞く事が出来ませんが、S S B や F M と違って一種独特の趣が感じられるモードです。ぜひ、9 エリアにビームを向けて参加してみてください。お待ちしております。（カット：氷見から望む立山連峰）



開催日時 毎月第二土曜日（原則月1回）21:00 ~

周波数 50 . 55 M H z

モード A M （ A 3 , A 3 H ）

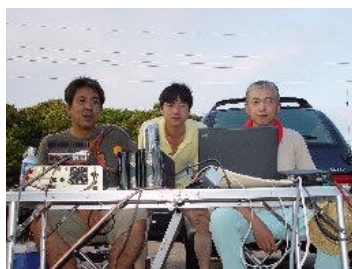
主なキー局 J A 9 S W R （富山県氷見市・なか）

J A 9 S L D （富山県氷見市・中川）

J A 9 V A R （富山県氷見市・釜田）

J A 9 V Q U （富山県高岡市・今川）

他各局



氷見市と羽咋市の間にある、碁石が峰（海拔430 m）に、R C のキー局のために集まった各局

キー局募集

固定局、移動局、Q R P 局、いずれも O K 。
キー局を広く募集しています。

「一回だけやってもいい」も大歓迎です。

*** インフォメーション ***

Info H.P. <http://www.fitweb.or.jp/~t-angel/>

メーリングリスト <http://www.freeml.com/info/9amrc@freeml.com>

問い合わせ ja9swr@jarl.com

「ちょっと、いっづくせんまいけ。ロールコールにいっぺん参加してみられ！」

6m AM トランシーバ 「ウェムト」 の紹介

2エリアロールコールグループ
JP2OMU / 酒井 宏高

始めに

あなたも、6m AMのトランシーバを作ってみませんか。今でもトランシーバの自作は可能です。このトランシーバに使用している部品はすべて「サトー電気」の通販で入手しました。6mバンドでは、AMモードがまだ活用されています。AMでロールコールを行っている地域もあります。自作トランシーバでロールコールにチェックインしてみましょう。

このトランシーバに使用している回路は、各ホームページや書籍で発表された回路の寄せ集めです。どうですか、見たことの有る回路ばかりでしょ。

このトランシーバの名前は「ウェムト」です。私の設計力を自己評価し指数の単位で10のマイナス15乗くらいと考え、この名前にしました。どうぞよろしく。

2エリアロールコールグループでは、94年95年98年の3回、6m AMトランシーバのキットを発表して来ました。最後の発表から大分期間が開いてしまいましたが、2004年にキットを発表すべく準備を進めてまいりました。残念ながら今年の目標の一つである、予算1万円以内を達成できず、キットの発表は中止としました。しかし、回路図だけですが発表しますので、自作愛好家の皆さんの参考になればと思います。設計の仕様は2エリアのロールコールのグランドミーティングで話をしたら、ハンディタイプが欲しいです。周波数は50.55~50.62MHzをカバーして。ロールコールにチェックイン出来る様に100mWは欲しいぞ。トランシーブ方式が必要です。予算は、1万円以内でね。皆さん、良い事を言ってくれました、私の実力も知らず、トホホ…。



今まで、電池駆動のトランシーバなんて作った事ないぞ。トランシーブ方式は作った事ないぞ。「まいったなー」が最初の感想です。

でも、ハンディトランシーバを一度は作ろうと考えて居ましたから、遣り甲斐があります。全体の周波数構成を決め、さあ実験です。

VXOの実験

40MHzの3rdオーバートーン水晶だと、周波数が目標の範囲になりません。次に水晶を並列としたスーパーVXOなら安定度の良いものが出来ました。しかし、これでは価格が高くなってしまいますので、安価な20MHzの水晶で2倍する方法に変更しました。電源投入直後に周波数変動が少し有りますが、すぐ安定しますのでよしとしました。

受信回路はどうしよう

AMの回路だったら、Sメータを振らせる事も出来るLA1600で決定でしょう。AFアンプは、お決まりのLM386です。でも、困った、感度が悪いです。そしてJF2NMY/高木さんに教えてもらったのがTA7358APです。FMチューナー用のICですから、50MHzにはぴったり。50.7MHzからVXOの40MHzを引き、第一IFの10.7MHzに落とし、次に10.245MHzで第二IFの455kHzに変換するダブルコンバージョンです。これでも感度もバッチリです。

送信回路はどうしよう

高木さんに頂いた回路図が有りました。40MHzのVXOと10.7MHzをミックスして、50.7MHzが出来る。VXOは周波数の低い方に变化するので行けそうです。次に電源電圧6Vで100mWが出せるトランジスタの、資料が有りません。こうなったら感と実験有るのみです。価格が安く高い周波数でもパワーの出そうなトランジスタを選び、実験して決めました。変調回路はいつものLM386です。受信でTA7358APが使えるのなら、送信にだって使えると考え実験をしてみました。はじめは送信スプリアスに苦労させられましたが、周波数構成と適切な信号レベルを与える事でスプリアスを低くできました。

あきらめた発振回路 2題

LA1600には発振回路が入っています。この回路で10.245MHzの水晶が発振できたらトランジスタが1つ省略できますが・・・とTA7358APにも発振回路が入っています。この回路で10.7MHzの水晶を発振させると、10.708MHzと少し高い周波数になってしまいました。色々やってみましたが、下げられませんでした。

最後に

設計中は上手く動かず、落ち込んだ時もあります。ローコール各局の励まして、何とか完成のレベルに出来たと思います。まだまだ足りない所も有ると思います。皆さんのアイデアのスペシャル仕様が出てくる事を期待したいと思います。

感想、お問い合わせは、<http://www.6mam.com/> の掲示板にどうぞよろしく。
各局 ありがとうございます。2004/7/21

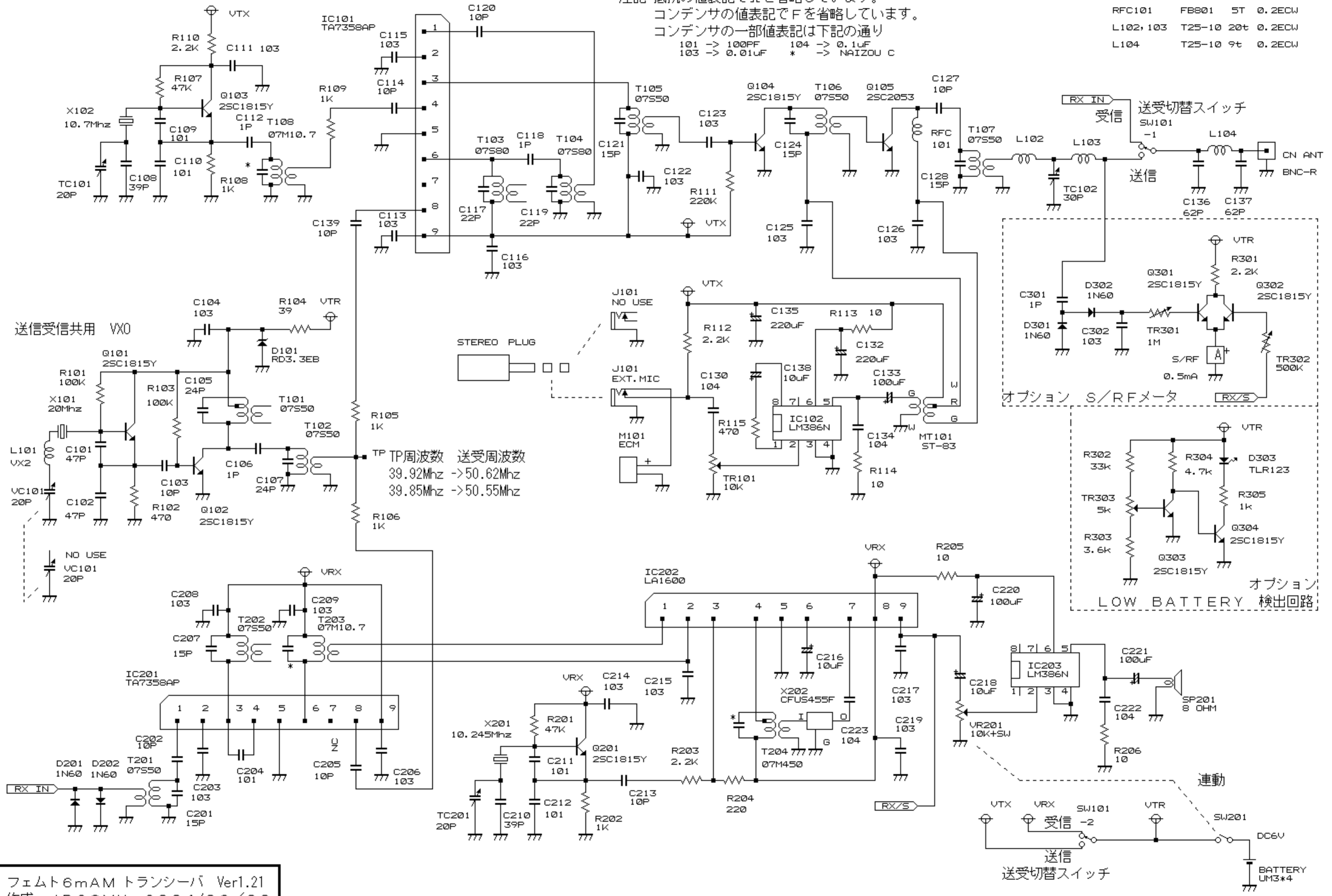
参考資料&ホームページ

CQ出版社 アマチュア無線自作電子回路

JR8DAG局ホームページ、JG3ADQ局ホームページ、JF2NMY局自作資料

注記 抵抗の値表記でΩを省略しています。
 コンデンサの値表記でFを省略しています。
 コンデンサの一部値表記は下記の通り
 101 → 100PF 104 → 0.1μF
 103 → 0.01μF * → NAIZOU C

RFC101 FB801 5T 0.2ECW
 L102, 103 T25-10 20t 0.2ECW
 L104 T25-10 9t 0.2ECW



送信受信共用 VXO

STEREO PLUG

オプション S/Rメータ

オプション LOW BATTERY 検出回路

TP TP周波数 送受周波数
 39.92Mhz → 50.62Mhz
 39.85Mhz → 50.55Mhz

フェムト6mAM トランシーバ Ver1.21
 作成 JP20MU 2004/06/03

連動

送信 送受切替スイッチ

BATTERY UM3*4

SSM2166 を使ったコンプリミッターの試作

JA1VZV 水上高志

1 きっかけ

AM では何とか変調を深く掛けたいのですが、私の手元のリグは、なぜか AM モードでプロセッサが働きません。愛機スカイエリート 6 には、そもそもそんな機能はありませんし・・・

という訳でコンプレッサの製作を考えていたところアナログデバイス社 SSM2166 という IC を頂きましたので試作してみました。(Tnx JI1ARP)

2 SSM2166 とは

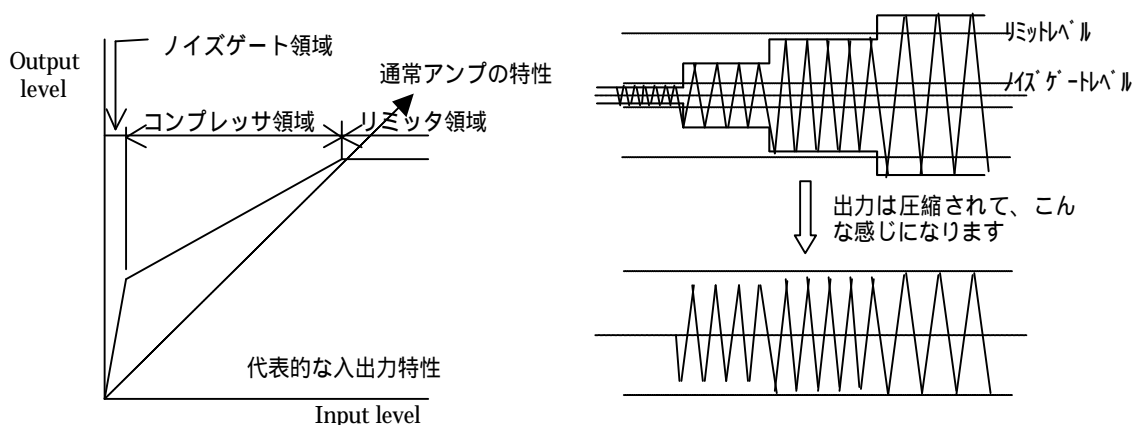
この IC はマイクアンプ、コンプレッサ、リミッタとノイズゲート機能を備えた 14 ピン DIP タイプで、外付け部品がやや多いですが、まさに目的ピッタリの逸品です。現物とデータシートは RS コンポーネンツ社 <http://www.rswwww.co.jp> で入手できますが、現物は取り扱い終了になってしまいました。(インターネットで検索すると米国内には在庫があります。04.8.1 現在)

3 リミッタとノイズゲート

コンプレッサ機能のデバイスは録音用などで多数ありますが、この IC の良いところはリミッタ機能を標準で備えている点にあります。

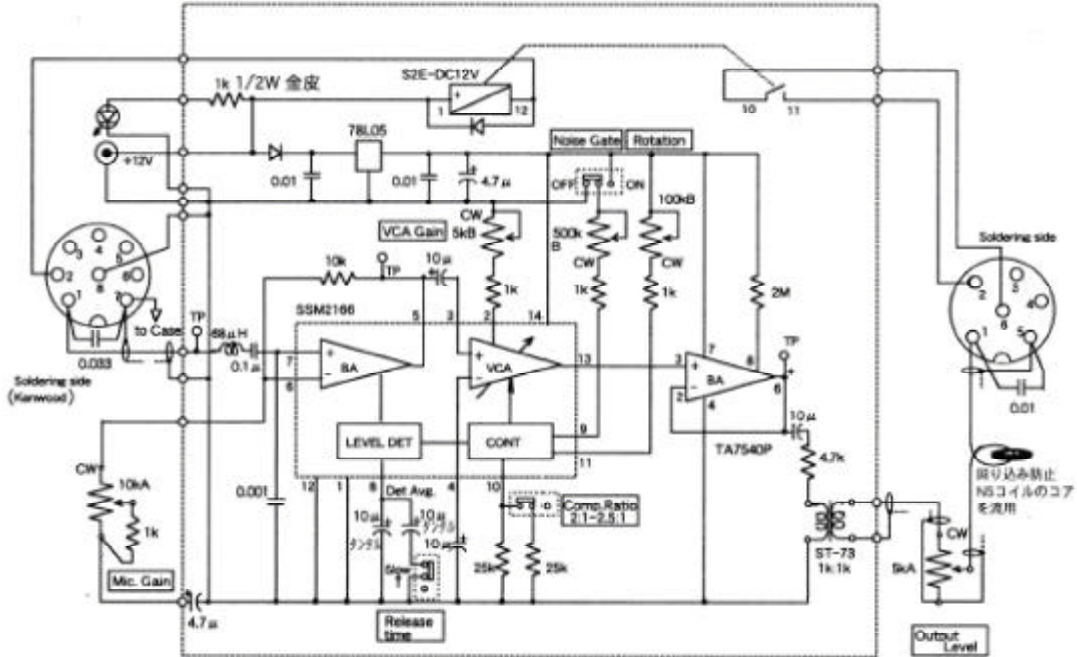
それも信号の頭をちょん切って制限するような乱暴なものではなく、アンプのゲインを調節してピークレベルを抑え込む本格的なものですから、歪も気になりません。リミッタによってオーディオ出力レベルをオーバーモジにならない限界に設定できるということは AM モードでは不可欠の要素といえます。

ノイズゲートは、何も話していない状態でコンプレッサのゲインが上がってバックノイズを拾うのを防止する機能で、オーディオのスケルチのようなものです。モニターしていると話の間でバックノイズが急に聞こえなくなりますが、電波に乗せると伝送系の S/N が悪いですから気にならないようです。



4 回路図

データシートを参考に適当に定数を決めて作ったのがこの回路です。



- 指定無きコンデンサはセラミックおよびケミコン。
抵抗は 1/4W5% カーボン。
(注) 基板外の接続は適宜変更をお願いします。
出力回路のトランスはアース回路を切り離すために入っていますが、ハムなどが乗らない場合は省略できます。

5 調整

調整には 10 ~ 100mV あたりのオーディオレベルが測れる測定器とオーディオ発振器、変調度を測定するオシロスコープが欲しいところですが、オーバーモジさえ気をつければ聴感だけで調整できないことはありません。

準備

配線を確認してください。

「Mic.Gain」と「Output Level」を70%の位置に設定してください。

「Release Time」Slow、「Comp.Ratio」2:1、「Noise Gate」off に設定してください。

出力側のTP (TA7540Pの6番ピン) にオーディオレベル計などをつないでください。

通電

電源を入れて電圧 (5V) と電流 (ICだけで7 ~ 10 mA程度)を確認してください。

基板調整

入力から音声信号を入れ、徐々に大きくしていったとき、 のレベルが100mVで安定するように「Rotation」ポリウムを調整してください。

目安としては15%位の位置になります。

100mV以下の設定ではリミッタの効きが徐々に悪くなります。

入力テストポイントに30mVの信号を加え、 が95mV(ゲイン10dB)になるように「VCA Gain」を調整してください。目安としては30%位の位置になります。

測定器が無い場合は30 ~ 50%位の位置にしておいてください。

総合調整

で100mV出ている状態に戻し、オシロスコープなどで変調度を観測しながら「Output Level」を調整し、過変調にならない位置に設定してください。

決めたら、以降は動かしてはいけません。

マイクから実際に音声を入れて変調音を聞きながら、変調が深くて騒がしくない範囲に「Mic.Gain」を調整してください。

「Mic.Gain」をいっぱい上げても音が小さい場合は「VCA Gain」を100%位置まで回してもかまいません。

「Noise Gate」onに設定し、変調音を聞きながら違和感が少ない位置に調整してください。実際に送信して他の人に聞いてもらったほうが良いかもしれません。

「Release Time」と「Comp.Ratio」は音を聞きながら好みで決めてください。

お勧めはSlow,2:1の設定です。

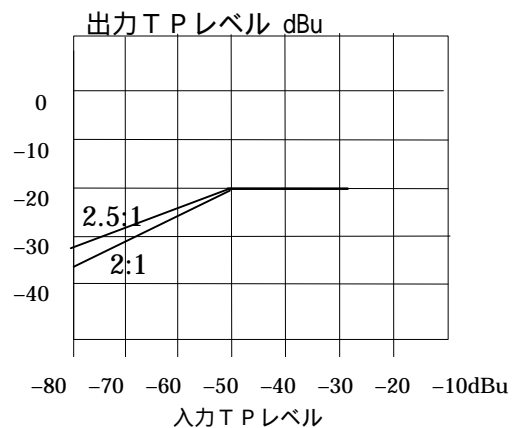
入出力特性実測値

(注) Rotation Levelを78mVに変更して調整した値です。本文のとおり調整するとグラフ全体が上方に約2dBずれた特性になります。

ノイズゲートの動作レベルは手持ち測定器では測定できませんでした。

0dBu=0.7746V

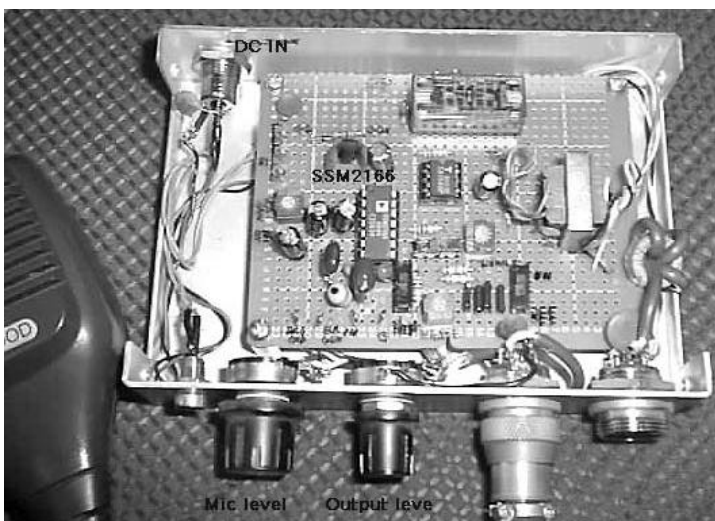
入出力特性



6 おわりに

スカイエリート6につないでレポートを貰ったところ、変調が深く歪感はないとのコメントを頂きました。目論見どおり自然な音になっていると思われます。

ただしRFの回り込みに弱く、スカ6では問題ありませんでしたがJST-245ではキャリアが10Wを超えたあたりから回り込みが生じ、回路図に示すように多少対策していますが取りきれていません。



高出力機への適用には特に回りこみ対策が必要のようです。

比較的容易に変調を深くすることができるFBなICですが、いつまで入手できるか判りませんので、興味のある方は早めに入手されることをお勧めします。

GL DX on AM mode. 73

10mw AM + ヘンテナでどこまで飛ぶか

JG2VSF 大鐘 智巳

自作のリグを展示していて「出力は？」と訊かれる事が良くあります。たまたま展示していたリグが10mW出力だったのでその旨を告げると「10mWですか？そんな出力では数メートル位しか飛ばないのでは？」と返ってきました。そんな事はないですよ、と言ったものの、実際に10mWで運用したらどうなるだろうと思い確かめてみる事にしました。

決行は2004年6月19日(土)。運用地として選んだのは、愛知県豊田市焙烙山山頂(豊田市で一番高い山です。684m)。同じ時間に2エリアAM RCが行われています。

キー局のJF2QKA大橋さんに宣伝して頂きながら違う周波数で運用を開始します。しばらくたってコールがありました。

「信号は55だ、しかし音声にピーという変調が乗っている」とレポート。音質はともかく、とりあえず1局QSO出来ました。

その後4局とQSOするも、急に雨が降り出し運用中止。

最長距離は約40km 10mWにヘンテナという組み合わせではまあまあ結果ではないでしょうか。ちなみにピー音ですが、VX0の異常発振ではないかとアドバイスいただいたので(TNX JR8DAG)早急に対策したいと思います。



今回は、VX0の異常発振と雨天のため、十分に運用出来ませんでした。リグを整備して再びチャレンジしたいと思います。

使用リグ FCZ#009 出力10mW 50MHz AM送信機
FCZ#232 #009用VX0を自作VX0回路に変更

50MHz用EHアンテナの実験

Naka / JA9SWR

最近、CQ誌などで話題となっている、EHアンテナを作ってみました。データや寸法など、さっぱり解らなかったのですが、ローカルのJA9EBS谷原OMが先駆けて実験しており、その寸法データを聞きまして、雑誌の図を参考にして作ってみました。



左の写真がその全形です。

材料は、全てありあわせのもので。

- | | |
|-------|-----------------------|
| 心材 | 塩ビ製の雨どいの筒、 |
| | 直径60mm L = 約500mm |
| 銅板 | 0.1mm 60mm × 200mm 2枚 |
| エナメル線 | 0.8mm 1000mm ぐらい |
| その他 | 圧着端子 2個 |
| | タッピンネジ 2個 |
| | 同軸ケーブル 5D2V 約10m |

寸法は、60mmの筒に巾60mmの銅板を巻きつけます。60mmの間隔をとり、下部にも巾60mmの銅板を上部と同様に巻きつけます。

下部シリンダーから、50mmのところ、エナメル線でチューニングコイルを作ります。何回か調整しましたが、今回は、3.5ターンとしました。コイルの下部より下シリンダーの上部へ、コイルの上部より、上シリンダーの下部へ約110mm持ち上げエナメル線で接続。

左写真は、給電部です。

給電は、同軸を直付けで、コイルの3/4ターンのところに給電しました。

他のコイルは使用せず、至ってシンプルな構造です。コイルは、タッピンネジ止めすると楽に作業ができます。

(CQ 5月号 94頁の図を参照しました。)



50MHz EHアンテナ使用実験

室内である程度まで、マッチングを取り、10Kmほど離れたローカルにレポートをもらいました。何とか電波は飛んでいる事だけを確認。

しかし、やはり同軸の取り回しによって、10W送信中にパソコンが突然シャットダウンしてしまい、これ以上の室内での使用は、恐くなって止めました。Hi



氷見市碁石ヶ峰
駐車場(400m
H駐車場)へ移動
運用を行って
みました。

EHアンテナを
タイヤベースか
ら4.5mHに水
平に取り付け
た様子です。

奥に見えるのは、
先客の2m用、1
5エレ×2×2
の巨大アンテナ。

EHアンテナ移動運用



ポールには、普通のビニル
テープでぐるぐる巻き。

最初は垂直にしてましたが、調整がうまくいかず水平に。しかし、アンテナアナライザで計測しながら、いざ上げてみると、高さによって(数十cm) SWRが大きく変化します。ポールなどを含めてまわりの影響を受けているものと思います。結局、高さ、方向、同軸の取り回しなど試行錯誤しながら、SWRが約1.5～1.7で妥協しました。

モバイルに積んでいる設備は、IC706MK2とAT180。

残りをAT180でチューニングしながらの運用となりました。

交信レポート(出力30W位)

車載のIC706MK につないで、ワッチ。ノイズベルが低く結構静か??

1, BV5がCQ、59でQSO。

2, 京都移動の局と51にて交信。

3, 金沢の2文字のOMと59。

4, 福井の2文字コールのOMと55。

5, 富山市の局59(FM)。

6, 県内移動局5エレと59。

7, 高岡の局と51。

と、言うわけで、2時間ほどで、7局との交信ができました。

総合評価?

実質25cmLのアンテナにしては、できすぎかなと感じました。当日、DPと比較はできませんでしたが、感覚的にDPよりは少し劣るものと思われます。移動に関しては、6mに関しては、DPアンテナもコンパクトで気軽に運用できる事から、EHアンテナの用途は少なそうですが、このサイズでローバンドを運用した場合、大きさとパフォーマンスを考えるとかなり有効だと思います。今回のEHアンテナもこれでよいのかどうか解りませんが、今後は、いろいろと内容が解明されるでしょう。この記事は、あくまでも参考のみとして取り扱ってください。

1200MHz 用「スパイラルレイ」アンテナの製作

JK1BMK 青木一郎

1、はじめに

以前、50MHzにてJA1EEZ田中OMとQSOの際、「スパイラルレイ」をご紹介いただきました。もちろんその時は初めて聞く名称のため、形状のイメージが湧きませんでした。現物を見ればすぐわかることですが、言葉での伝達には時間が掛かりました。このような中でシロウトの私にうまい説明をしてくださいました。

八木アンテナを想像する

そのブームの先端と後端を左右の手でつまむ

ブームの軸を中心として左右にねじる

エレメントの前後ろが90°になるまでねじる

でした。

2、動機

単一の偏波面でないため乱れた偏波に強いとのこと、作ってみたくなりました。

しかし50MHzでは大きすぎてムリなため1200MHzにチャレンジしました。反射波(と思う)を比較的多く経験する1200MHzには向いていそうでした。

3、製作にあたって

まずは普通の11エレ八木を作るつもりで準備し、エレメント長、エレメント間隔を求めました。(別表参照)

別表		
エレメント	エレメント長(mm)	間隔(mm)
D9	91	93
D8	91	
D7	92	86.5
D6	93	87
D5	94	65.5
D4	95	77.5
D3	97	63
D2	98	42.5
D1	100	37
Ra	107 × 15	20
Re	111	17

(1)仕様

・エレメント数：11エレメント

・ブーム長：730mm

・偏波面：楕円

・重量：135g

(2)構成

・給電エレメント：2mm銅線によるフォールデッドダイポール、バランは不使用

・他のエレメント：4mmアルミパイプ

・ブーム材質：12mm木製丸棒

・各エレメントは9°ずつ傾けてあるのでエレメントの前後端では90°となる

(3)作業

木製ブームはエレメントの固定が楽で4mm穴に4mmアルミパイプを軽く打ちこむだけで、ネジ類や接着剤をつかわず、丁度良く固定されます。

(移動用に作りましたので防水は未対策です)

(4)苦勞 エレメントを9°ずつ、角度を付けることには苦勞しました。方法はブームの尾端に分度器を仮付けし、一ヶ所開けたら角度を読みながらブーム軸を回転させ、次の穴あけに移りましたが多少のズレが出来てしまいました。

4、問題点



(1) エレメント間隔が等間隔にならず

「普通」の11エレ八木としたので当然と言えば当然のことですが50MHZ11エレ(JA1EEZ田中OM)の場合は等間隔となっています。

(2) 円偏波にならず
楕円偏波の様です。

導波器の先に行くほど間隔が広がったため、ブーム長に対して均一なエレメント間隔でないことが原因のように思います。そのため現在は設置

の際、垂直成分が多くなるようにセットしています。(先端エレメントを垂直とする)

5、使用感

受信の際、アンテナを振ってみると当然信号強度が変化します。その時、相手の位置方向と思えない向きからの電波が一番強くなることを経験しました。屈折や反射により乱れた偏波をうまく捕捉しているように感じました。

6、定量的な数値の未把握について
参考としていただくためには利得をはじめ、諸性能の数値を提示すべきと思いますが測定機器の環境と力がないのでご容赦いただきたいと思います。

せめてもう一本、同寸法で普通の11エレ八木を作り、本アンテナとの比較を同時に行えば多少の参考になったこととは思いますがこれもせずに失礼をいたします。

7、参考図書

6 m A M ロールコールグループ
[2003ハムフェア]パンフレット
「作るUHFアンテナ」CQ出版社



4 エリアアクティブ局紹介 JH4ISQ

久保 政勝(くぼ まさかつ) 山口県山口市在住

私の開局は昭和49年です。兄が開局していたこともあり、私も従免を取得したのがアマチュアのきっかけです。開局当時、AMが全盛期で我が家もTX88D, 9R59D, FDAM3があり、主に3.5MHzと50MHzでQRVしていました。

50MHzではEスポ発生時、1Wとスクエアローのアンテナで1, 7, 8, 9, 0エリア等の局と交信が出来ることが不思議で、夢中になってQSOしていたことを記憶しています。また、最近のEスポと違って、ほとんど終日フェードアウトすることなく数日間続いていた気がします。

あれから社会人となり、10年間ぐらい固定運用はQRT状態で、もっぱら、モバイルで145MHz帯にQRVしていました。また、半ば職務命令で上級試験取得となり、いままで興味がなかったQRO(500W)の準備をしていましたが、ある日、山口市内で50MHzの運用局が多いことを知り、再びQRVすることとなりましたが、



シャックにて



RIGが無いため久しぶりに自作することを思い、結局、FM, SSB, AM機と50MHzの3部作を造りEスポを体験することとなりました。また、アンテナの自作も手掛けCQ誌にも数回記載されました。今ではすっかりQROの興味も薄れ、6mマンの仲間入りして山口各局と移動運用にも参加しています。

特に6mAMのQRPP(100mW)自作機でのQSOは醍醐味ですね。

いろんなアマチュアスタイルが自由出来る時代となりましたが、アマチュアの原点は「自作」と「AM」にあると思います。開局30年になりますが、いつまでも「ラジオ少年」であり続けたいですね。

リグの写真

FM10W機(上)

AM、100mW、QRPP機(中央)AM/FMチューナーの筐体

利用した10W、SSB機(写真下)

JA6エリア・アクティブ局紹介 JA6AVT OP. 中村秀修

こんにちは、中村です福岡県糟屋郡より6m AMにQRVしております。
JA6AVTの開局はH10年11月、1973年JF1VXBで開局現在も保持しています。昼は14/18MHzでラグチューか6mが開くとAM,SSB,CW,FMと何でも出ます。またKHOM,V63HZ,KC6HN,T88HN,VK4AHN,JD1等でQRVしてきました。
KHOM,VK4AHN,JD1では6mでも多数のJA局等とのQSOも成功しました。
6mではHB9CV+50Wで3B9C,PY2XB,A52JA等QSO出来ました。JA1~3が開いて無い場合は、ほとんどノーパイルなので、簡単な設備でも聞こえていればQSOのチャンスがありました。



Rig:

6m:RJX-601+HL-66V
or FT-736+HL-66V
HF:TS-850+811Ax2
AMP200W outです。

アンテナ:

3.5/7MHz 2band INV-Vee
10MHz SinglBand INV-Vee
14/18/21/24/282eleのCQ。
6mは4eleとHB9CV。
144/430/1200MHzは各々
GP、(ほとんどでてません)
アンテナの高さは6m程です。
国内Es.専用のため回転しません。Hi
Es.シーズン専用で仮設置のアンテナです。
隣にある電柱状のものは、
パンザマストでHFのQUAD
をのせています。

高台にあり、隣は池なのでこんなアンテナでも飛んでいるようです。Hi
当地は夏のEsシーズン以外では6mの電波はほとんど聞くことがありません。
国内がOPENしている時はAMでCQを出していることがあるので、聞こえておりましたらQSO下さい。

7 エリアアクティブ局紹介

J F 7 G D N 米澤友浩

E-MAIL: jf7gdn@jarl.com

6 m移動運用でのAM運用

私は常置場所にアンテナを上げていない為、もっぱら週末に移動運用にて6 mを楽しんでいます。SSB、CW中心の運用である事は否めませんが、リクエストに応じてAMも運用しています。よってAMは、アクティブな諸兄と比べると初心者レベルなのではないかと思えます。感覚的にはSSBで55位でないと、AMでのQSOは難しいのではないかと感じています。移動先でAMのリクエストを頂く場合は、CW SSB AMと様子を見ながらの場合が多いのですが、場合によっては思いがけぬQSOもあります。

まだ雪のちらつく今年3月初旬に柴田郡に移動した際には、伊勢原市移動局からcall頂きAMで交信成立。後で相手が3Wだったと知り、吃驚しました。またEスポが良好の時には、50.60付近でCQを出してみる事もあります。Callがあると変調のレポートを頂くなど、ラグチューを楽しんでいます。

CW又はSSBでCQを出す事が多いのですが、信号強度に余裕がありそうな時は、AMのリクエストをしてみたいと思います。QRNの状況等ではQSYをお願いする事もあるかと思いますが、AMにもトライしたいと思っています。よろしくお願いします。



柴田郡川崎町移動

8 エリアアクティブ局紹介

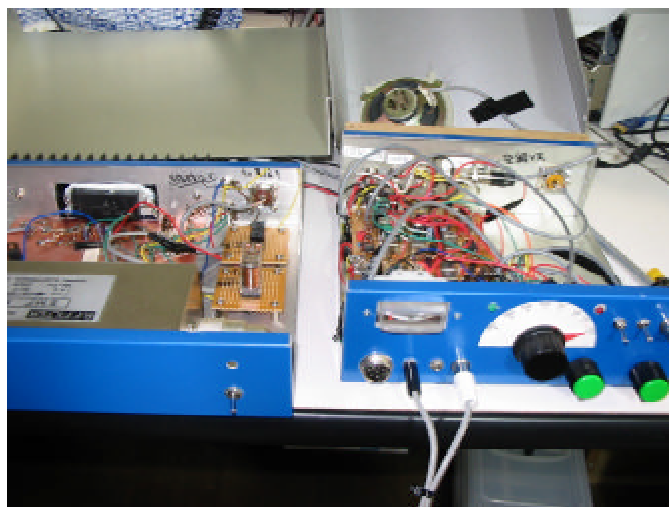
J A 8 I Z C 天野 健文

QTH 北海道 岩見沢市 [札幌から北東 (旭川方向) へ約 3 5 K m]

RIG

1. 自作 AMRC696 (JR8DAG 局設計) + M57735 リニアアンプ
2. 自作 低電力変調
(自分で巻いた DBM による変調。ファイナルは 2SC1969) 送信機
3. FT - 8 1 7 など
4. 1 4 m H 3 E L E Y A G I

タワーが家屋に接近していて、かつエレベーターをつけている為、片支持にせざるをえず、RADI X に特注しました。デベロップでつるしていますが、このくらい大きさが限度かと思います。(キュビカルクワッドなら、何エレにでもできそうですが、...)



自作 低電力変調送信機

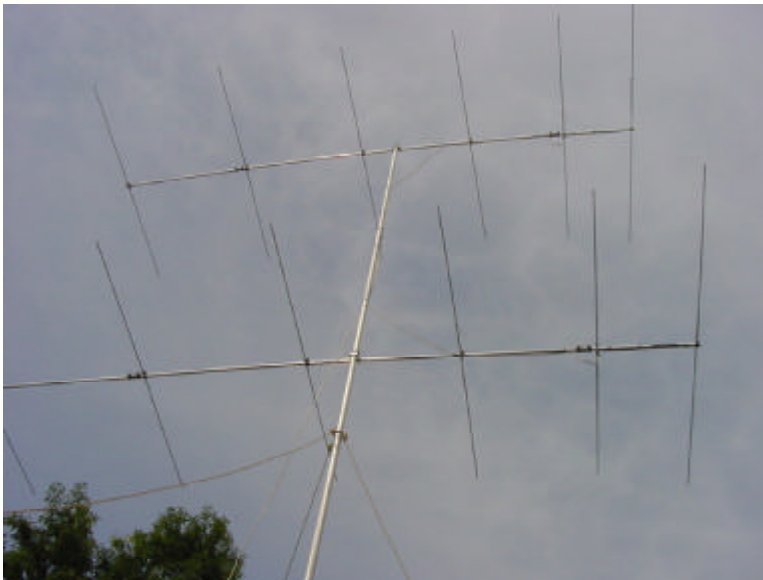
札幌近郊の 6 m AM はコンテストか E スポでも出ないと何も聞こえません。JR8DAG 局の HP の「運用予告」を見てワッチし、変調レポートをもらったりしています。もちろん、E スポに気がいたら C Q を連発していますので、よろしくお願い致します。

0 エリア・アクティブ局紹介

JH0LTJ 岩野 靖

JH0LTJ 岩野と申します、QTHは新潟県長岡市在住です。

開局以来25年間6mの虜になっています、MODEはSSB,CW,AM,RTTYに出没し、AMに関しては0エリアには相手局がほとんどいませんので他エリアの局との交信がほとんどです。また全体的に6mの局数が減り、新しい局がなかなか出て来ないのは寂しいかぎりです。私のハムライフですが当然オペレートは大好きです、その他ANT等の自作も行っています。(冬場のコンディションの悪い時期にじっくりと)



設備ですが、固定はFT-655S + AMP, 15.5mH/20mH 7ele Yagi × 2で

移動はFT-655, 7.25mH/11mH 6ele HB9CV × 2と外見(見栄)で勝負しています。

お空で聞こえてましたら気軽に声を掛けて下さい。AM QSY OK OK!!

(写真は今年の6m And Down のものです)

(詳しいことは<http://www.ham.jp/~jh0rnn/report/2003/6d.html>を見て下さい) TNX JHORNN



移動用
ベルトドライブローター

0 エリア・アクティブ局紹介

JG0GJG 鈴木 巖

自己紹介

住所 新潟県新潟市

固定設備

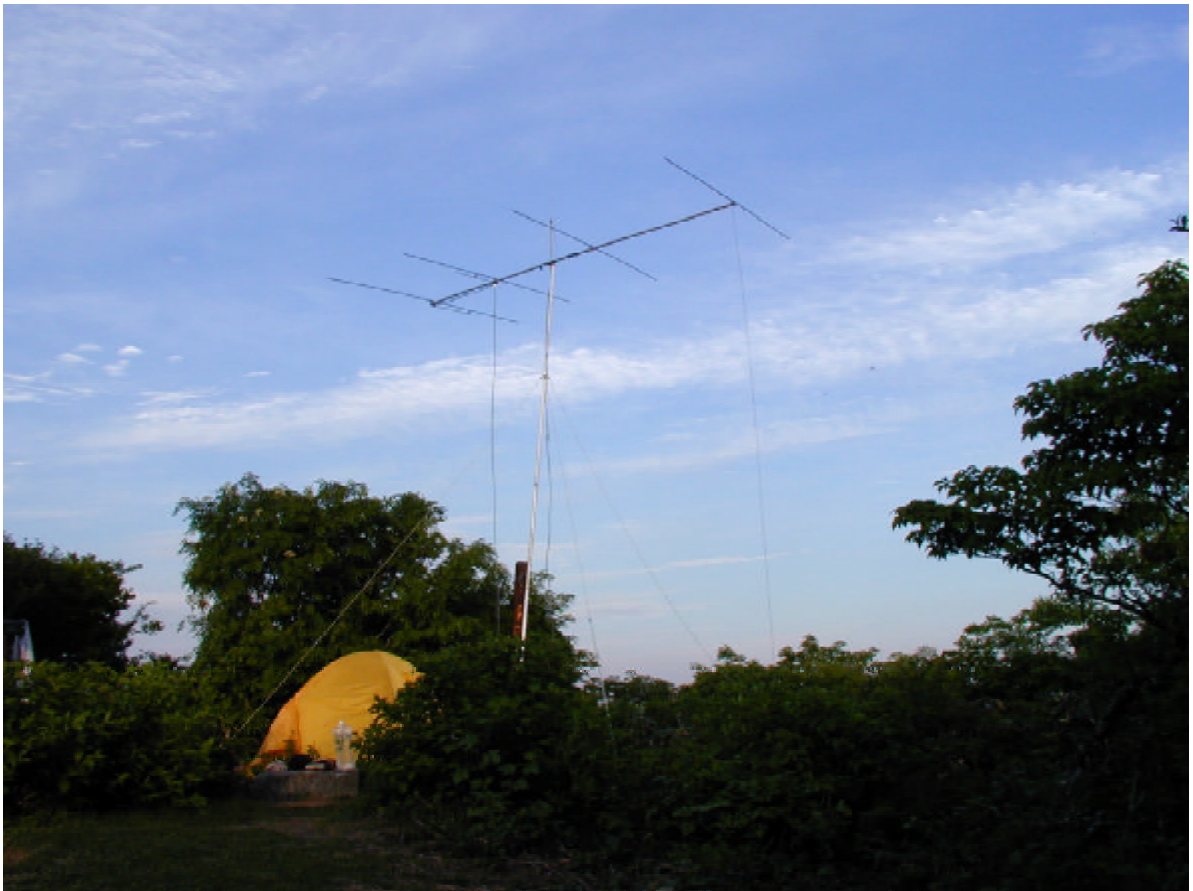
Rig IC - 756 ANT 6 EL Yagi 14 m H

移動設備

Rig IC-706mk2 7EL Yagi 10mH

FT-817 4EL HB9CV 4mH 等

6mAM 大好きなのですが、新潟市近郊では QRV 局が皆無に等しい状況です。それでも、毎晩ローカル局と 50.550MHz でラグっております。昨年、9 エリア AM ロールコールにチェックインさせていただきました。いつかは 0 エリアでも AM ロールコールが実現出来たらと思っています。



阿賀野市最高峰 菱ヶ岳 974m」での運用風景です。

日本最西端からのQRV

文責：JE3NJZ 皆田高志

<はじめに>

6月4日から7日までの予定で本邦最西端の島嶼である与那国島（沖縄県八重山郡）に移動してきました。今後現地に移動される方のため簡単ながらも現地の様子などレポートにまとめましたのでご参考として頂ければ幸いです。



(メンバー左から JE3NJZ・JJ1EQW・JA0KNM/日本最西端の碑にて)

<きっかけ>

職域のハムクラブメンバー有志が従来からEsシーズンに合わせIOTAサービスも兼ねて沖縄の離島各島に移動していて、私はそれに後から参加する形で一昨年の西表島移動から参加するようになりました。基本的には毎回移動地(島)は変えることになっていて、昨年が南の端の波照間島だったので、次は西の端に行こうと言うことに

なったのが直接のきっかけです。正直結構簡単に決まってしまうのです…。

<長い道中>

昨年の波照間島また一昨年の西表島共、石垣島から高速船での移動でしたが、与那国島は石垣島からは直線で100km以上あります。石垣島からフェリーの便もありますがメンバー全員現役のサラリーマンで何とかやりくりして休みを取って来ているので時間の節約のため更に石垣島から空路与那国島に入る経路を選択しました。これにより私は今回初めて、国内線3路線・乗換え2回を経験しました。自宅を6時過ぎに出て、羽田から那覇、那覇から石垣、石垣からは更にプロペラ機で与那国まで、待ち時間も入れると片道10時間以上の長旅でした。羽田 - 那覇・那覇 - 石垣間は便数も多いのですが、与那国 - 石垣間は一日2便のみですから、それにあわせて羽田出発の便を決めました。(時刻表はJAL(RAC)のWebサイトに載っています)

< 使用機材 >

今回の使用リグはFT-767GXXとFT-857M、アンテナはHFハイバンド用のギボシアンテナ、7 M用の逆V、それから6m用の2エレデルタループと144M用の3エレ八木も持参しました。アンテナやポールもそうですが、なかでもFT-767GXXは固定機で図体も大きく、単体で15kg程あるので毎回ヒーヒー言いながらもキャリアに載せて運んでいます。重いのは重いのですが固定機なので移動機より扱いやすく、特にCWでの感度とS/Nが格段に違います。



(写真 -2 : FT-767GX 専用ハードケース)

ただ、長距離の輸送だと傷みますし、そのままでは航空貨物として預けられませんか、2年程前に会社出入りの業者に安く作ってもらった専用のハードケースに収めて持参しました。最近の移動では少々無理をしてもこれをHFのメインリグとして使用しています。

尚、同軸は多少のゲインロス覚悟で軽く扱いやすい3D2Vを使用しています。重要なものに重量を裂いた分、その他ではできるだけ稼がないと超過料金の対象となってしまう。

現に私は石垣までは他の二人と別便だったので僅かではありますが重量オーバー(体重ではない!)となり、超過料金を払う羽目になりました。(同行の人間がいれば超えた分は同行の人間のものとしてカウント可能とのこと)

< 宿泊先・運用場所 >

ホテルと名の付くところは一般的に高いので毎回宿泊するのは専ら民宿です。もっとも石垣島など大きな島を除きホテルと称するようところはなく実質民宿が唯一の宿泊施設である場合がほとんどです。民宿の手配は交渉上手なJA0KNM有賀OMが担当していますので詳しい経緯は本人に聞かないとわからないのですが、基本的には予めアンテナを架設できる2階屋上がある民宿を探し、移動運用が目的であることを伝えてアンテナ架設を予約時に承諾してもらっています。

中には無縁に理解を示してくれない宿もありますが、6月初旬はどの島でも閑散期にあたるため比較的歓迎してくれるところが多いようです。

やはり離島は海がとても綺麗なのでスキューバダイビングが目当ての宿泊客が多く、有名な海底遺跡やハンマーヘッドシャークを見に来る客が殆んどこのことでした。

今回お邪魔した民宿は与那国町町役場正面にある「さきはら荘」で、母屋の横に客間を増築したような構成になっています。(写真はYahoo e-groupのhamfes3amから閲覧/ダウンロード可能)今回は持参する同軸の条長が不足しないよう2Fの部屋で、他客に音波のインターフェアを与えないよう角部屋を手配して貰



いました。概して離島の民宿は隣部屋との隔壁が薄いので、このあたりこちらから気遣うようにリクエストすればその他のお願いも案外快く応じてくれるようです。(要するに「気は心」!) 初日は我々のグループだけでしたので貸切状態でした。

民宿さきはら荘前にてJJ1EQW 佐藤OMと(左が筆者)

<到着、そして早速のアンテナ架設>

初日は到着便の遅れもあり与那国空港到着は5時過ぎになってしまいました。しかし、さすが本邦で最後に日の沈む場所! まだ日は充分高くでまるで3時ごろのような日の高さでした。ターンテーブルからの荷物を取り出しキャリアに載せて出口に向かうと予め頼んでおいた迎えが来ていました。(ちなみに、八重山の離島では石垣島など人口が多いところでなければタクシーは営業していません。但し、予め頼めば大抵の民宿は無償で空港や港まで送迎の送迎に快く応じてくれます。)

10分ほど車に揺られると目的の民宿「さきはら荘」に到着しました。宿に着いて月桃茶で喉を潤すのもほどほどに早速荷物を2階の部屋に運び込み機材を開梱、アンテナの架設に取りかかります。

今年は3人といつもより1人少ないので各自がやることは多かったのですが、移動用に自作されたデルタループはほとんど工具も不要であったという間に組みあがります。架設したマストは5mの伸縮ポール2本だけです、これを支柱にギボシアンテナと144Mの3エレ、7M用の逆Vも架設しました。(フォトアルバムの写真参照)しかし、場所の制限からエレメントの端が、TVアンテナ(UHF)の近傍に来てしまいこれが後で悪さをすることになります。

<夕食、そして運用開始>

アンテナが組みあがるともう夕食の時間となっていたので、とりあえず食事を摂る事としました。1Fの食堂に下りる前にとりあえずワッチすると何と6mが開いているではありませんか。これはイケルと確信し悠然と食事に向かいました。初日は客が我々だけだったこともあり、鳥のことや無線のことなどを女将に聞いたり聞かれたりしながらのんびり食事を楽しみました。食事の際に女将から地元の泡盛「舞富名」を出されたのでほろ酔い気分にはなっていましたが7時半ごろには部屋に戻って運用を始めました。案の定まだ6mは開いています。若干QSBは深いもののJJ1EQW/佐藤0Mが快調にパイルをさばきます。私は21Mを運用、各局に見つけてもらえるようコールと地名を頻繁にアナウンスし、ゆっくりしたQSOを続けていると断続的なパイルになって来ましたが、日のかげりと共にフェードアウトしました。

一方6mもQSBの周期が早くなりフェードアウトの兆候。コールが途切れるようになると、全員早朝の起床と長時間の移動で疲れていたため誰言うとも無く全員居眠り状態でZZZZZ。

<南大阪AMロールコールへのチェックイン成功！>

1時間ほどの居眠りはスケルチが断続して開く音とIGYのビーコンに覚まされず。なんと、とっぶり日が暮れたのにも関わらずまだ6mが「開いている」ではありませんか!!時計を見るとあと1時間弱ほどで9時。果たして時計が9時を指すと同時にダイヤルを50.550MHzにダイヤルを合わせると弱いながらもJA3XQ0/竹中さんのCQが浮き上がるように聞えてきます。しかし、AMでは未だNGでUSBにして何とか内容がわかる程度でした。いつフェードアウトするかわからないのでとりあえずクロスモードでもチェックインしようとSSBで呼びかけますと即応答があり、55-59でレポート交換、こちらからの電波は強く行っているようですが、こちらではまだAMで出来るほどのコンディションではありません。私がレポート交換を終えると、JA0KNMがあとに続きました。その後も3人で駄弁りながらBGM代わりにロールコールを聞いていると徐々にレベルが上がって来て、遂には59で入ってくる局もあるようになって来ました。

時間は既に9時半を回ろうとしていましたがそこで再度AMに切り替えすかさずコールするとコールバックが・・・、とうとう日本最西端から6 m AMで南大阪AMロールコールへの2WAY-AMでのチェックインに成功しました!!暫くその後の様子をワッチしていましたが、初日に全てを達成した充実感と新たに襲ってきた睡魔のため翌日以降の大オープンを期待してその日は床につきました。

< 上がらないコンディションとインターフェア >

初日の晩の華々しさはどこへやら、2日目からは6 mがさっぱり開いてくれません。断続的には開いてはくれますが如何せん全く安定しません。21 Mも昨年の波照間や一昨年の西表に比べてQ S Bの周期が短い上に深くコールが続きません。その分近距離の沖縄本島や南西諸島が強力で相手の局も「与那国がこんなに強く入るのは珍しい」とのコメント。コールが途切れ、止む無く18 Mに下がってQRVを始めました。7 Mは本土よりBV(台湾)の国内局のラグチューの方が強いのですが、C Qを出しても呼んでくるのは数局のみでした。夜になりバンドを切り替えて7 MでCQを出していたとき、女将からTVに大音響が入っているとの苦情が入りました。先ずあやまり(これが重要!)運用を停止して至急対策する旨伝えました。

リグ+電源はhomeでも使っているものですから予め十分なコモンモード対策を施してあります。原因は9割方アンテナと判断して屋上に上がると案の定7 Mの逆Vのエレメント先端がほとんどTVアンテナに触れそうな状態、これではインターフェアも仕方の無いところ・・・・・・。逆Vの展張角度を変えTVアンテナから充分離して「試験」するとバッチリ止まりました。その後、万一再発したら遠慮なく言って来て欲しい旨女将に伝えましたが、その後は一切インターフェアは発生しませんでした。(同時運用時には2台のリグの間で若干の混変調はありましたが・・・)

< 特徴ある伝播 >

前述のとおり私自身今年で連続3年目の八重山移動になりますが、八重山諸島からの電波はどのバンドでもより強く本土(北)方向に届く非対称の伝播のようです。非ビームアンテナを使うHFの場合でも似たような傾向で、最終日の明け方はE Uが束になって呼んできて短時間ながらうれしい悲鳴を上げました。もっとも、この特異な伝播が毎年我々の背中を押して離島運用をさせているのも事実です。

< 離島運用の勧め >

沖縄本島のOMさんの情報では、与那国島には昨年までは気象庁の職員が駐在していて唯一の常駐局としてQRVしていたそうです。しかし、現在常駐局は居ませんし、八重山諸島でも小さな島には常駐局のいない島が他にも沢山あります。IOTAでは八重山諸島は「AS-024」で括られており、そのうちの何処とConfirmしてもIOTA上は同じですが、「JIIA」(Japanese IOTA Islands Awards)と言う新しいアワードでは同じIOTAナンバーの各島々に固有のサブ番号が割り振られ、それらとのConfirmがポイントとなるのでそれを狙っている局も少なくないと聞きます。特に北米やEUの局からは、JAから見たカリブの島々と同様八重山諸島の要求度は非常に高い。

コンディションばかりは運次第ですが、Esシーズンと言われる5月～8月ごろなら「あたる」確率が非常に高いと思います。わざわざ海の綺麗な場所まで行って無線の運用と言うのは、家族はもとより職場の上司にもなかなか理解してもらえませんでした。恒例行事にしてしまうと、「お父さんは毎年この時期は島に行くことになっている」とか、「この時期は年中行事なのでお休みを頂きます」と言える様になります！?(諦められている!?)

また、離島運用は海外運用よりはお手軽ですし、連休やお盆のシーズンをはずせば安い航空券も手に入りやすくなります。前述のとおりアンテナの架設や1人あたりの手荷物の重量制限枠もグループではシェアできますから、機材を持ったの移動運用は2～4人のグループが適当だと思います。週末+ で充分ですからみなさんも一度南の離島からQRVされてみませんか、準備や費用の工面などそれなりには大変ですが、いつもとはチョット違った雰囲気とJA+DXからのパイルが貴局を歓迎してくれるはず。尚、JIIAについては詳しくは次のURLをご参照ください。

<http://www.h4.dion.ne.jp/~ji6uru/jiia.html>

第2回全国6mAMロールコールのお知らせ

全国のAM ファンの皆様—昨年悪天候のため8合目からの運用、昨年は中止になりご期待にそえなかったのが今年も下記の要領で「全国6mAM ロールコール」にチャレンジすることにしました。各エリアの皆様奮ってご参加をお待ちしています。

運用場所：富士山山頂

実施日：2004年9月18日

時間：19時頃より

周波数：50.6 MHz 付近

キー局：JA2AZZ, JF2QKA, JL2VXR, JA1EEZ 他

なお天候不順が予測される場合は中止いたします。

なお情報は下記のBBSで公表いたします。

<http://www.6mam.com>

なおキー局の一員として富士登山に参加ご希望の方がいらっしゃいましたら右記へご連絡ください。ja2azz@jarl.com 又はja1eez@jarl.com

「6mAM ロールコール」キー局(ネット局)募集

6mAMによるロールコールはAMのアクティビティの向上を目指す各地区の有志の手によって運営されています。皆それぞれ勤めの合間を縫って時間を作ってキー局(ネット局)を勤めています。しかし仕事の都合、家庭の事情等で必ず毎回運営出来るとは限らない事情が続いています。そこで各地の6mAMによるロールコールではキー局(ネット局)を勤めてくださるかたを随時募集しています。毎月でなくてもかまいません年1回でも2回でも良いのでご協力いただけるかたがおられましたらロールコールのキー局(ネット局)か下記の各地の担当者へご連絡いただくと幸いです。

[1エリア] JP1EVD [Eメール jp1evd@jarl.com](mailto:jp1evd@jarl.com)

[2エリア] JA2AZZ [Eメール ja2azz@jarl.com](mailto:ja2azz@jarl.com)

[3エリア] JA3XQO [Eメール ja3xqo@6m.net](mailto:ja3xqo@6m.net)

[9エリア] JA9SWR [Eメール ja9swr@jarl.com](mailto:ja9swr@jarl.com)

原稿募集

来年も「6mAMロールコールグループ」のパンフレットの原稿を募集いたします。

内容：

- (1) 各地のロールコールの紹介
- (2) ロールコールの運用状況の紹介
- (3) 各地のAMアクティブ局の紹介
- (4) アンテナ、無線機などの製作記事
- (5) 移動運用の報告
- (6) 設備や無線機の紹介
- (7) その他 e t c .

以上の様になんでも結構です、原稿と写真をお送りください。

原稿の細目についてはは原稿送り先にお問い合わせください。

原稿納期：2005年6月末頃

原稿の送り先____tatsu1eez@fa.mbn.or.jp

*** 6mAMロールコールグループへの運営資金の寄付のお願い ***

6mAMロールコールグループでは、できるだけ少ない経費で活動をPRしたいと考え、純粋展示によるブース出展を行っており、本ブースのPRに大きな役割を果たしている当パンフレットも無償で配布しております。しかしながら、出展経費が減免されている純粋展示であっても、ブース運営には出展費用やパンフレット作成などに数万円の経費が必要となっています。これまで、当ブースの運営費は過去の積立金 や有志からの寄付金等で行ってきましたが、10年以上の純粋展示を行う中で、運営資金が底をつき、出展そのものが不可能になりつつあります。ここで、誠に勝手なお願いではありますが、本パンフレットをお読みになり、当グループの活動にご賛同頂ける方に、ご寄付をお願いし、今後の運営資金にしたいと考えております。ただ、純粋展示ブースにおいて、ハムフェア会場内で寄付を受けることは販売と見なされる可能性があるため、今回、試行として別添の郵便振替用紙による寄付をお願いすることとしました。なお、寄付は、少額で構いませんし、寄付の有無でロールコールにおける扱いに差をつけることはありません。その点、あわせてお知らせします。

寄付をお願いする郵便振替口座の番号と名義人は下記の通りです。

口座番号 :00160- 9- 550537

口座名称 :6mAMロールコールグループ

積立金

10年以上前は、当グループではハムフェアでも販売展示を行っており、その時の積立金です。なお、この件に関して、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、会計担当のJK10NN(jk10nn@jarl.com)までおたずねください。



JH5UPI局のフィールド運用風景